

招 集 期 日	平成 2 7 年 6 月 2 4 日 (水)		開会の場所	教育委員室
開会の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 3 0 分	開 会 者	委 員 長
	閉会の時刻	午後 2 時 3 0 分	閉 会 者	委 員 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
石 井 康 三	出 席	春 山 教 子	出 席	
岩 本 一 盛	出 席	小 島 敏 之	出 席	
古 市 明	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	山畑学校教育部長	斉藤生涯学習部長	岡戸教育総務課長	栗原学校教育課長
	米川学校給食センター所長	池澤生涯学習課長	赤坂スポーツ振興課長	加藤図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会		6 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会		
日程第 1 前 回 会 議 録 の 承 認	石井委員長	<p>教育委員会の会議は、原則公開である。今回の日程で、非公開案件はないため、すべて公開することについて諮った。</p> <p>異議なしの声あり。</p>		
日程第 2 報 告 事 項 1	石井委員長	<p>前回の定例教育委員会の会議録の承認について諮った。</p> <p>異議なしの声あり。</p>		
平成 27 年度 羽 生 市 教 育 委 員 会 研 究 委 嘱 等 について	石井委員長 学校教育課長	<p>前回会議録は、承認された旨宣した。</p> <p>報告事項 1、2 について、学校教育課長より説明を求めた。</p> <p>研究委嘱、グループ研究等は羽生市の施策を意識した各学校やグループの取組みとなってきた。平成 27 年度の研究委嘱発表は、新郷第一小学校の健康教育と川俣小学校の算数科であり、</p>		

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2 平成27年度羽生市教育研修センター研修事業の開催について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>それぞれ10月30日と11月11日の発表を予定している。平成28年度の研究委嘱発表は、須影小学校の思考力・判断力・表現力の向上を目指したタブレット端末の活用、岩瀬小学校は英会話科、外国語活動を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成、三田ヶ谷小学校は国語科において思考力・判断力を育みコミュニケーション能力を高める指導法の工夫となっており、今年度から研究委嘱する。研究奨励費の給付は、昨年度からの委嘱で、須影小IT活用推進グループ、羽生南小学校の異校種交流推進グループ、今年度から羽生北小学校の学校図書館教育推進グループを委嘱する。その他緑化教育研究校として南中学校が研究委嘱を受けている。</p> <p>「平成の田舎教師育成事業研修会」は、採用2年次から9年次の教職員を対象とし、指導案の検討、研究授業の実施、研究授業後の指導、そして次回の研究授業へと繋がっていく。1年間を通して非常に力がつく事業である。その他、「生徒指導・教育相談中級研修」、「生徒指導・教育相談研修会」、「臨時的任用教員研修会」、「郷土を知る研修会」、「羽生市教育支援員研修会」の全6事業を開催する。</p>
<p>報告事項3 平成26年度PTA活動研究委嘱報告について</p>	<p>石井委員長</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>報告事項3について、生涯学習課長より説明を求めた。</p> <p>東中学校PTAへの委嘱で、6月12日に行われた羽生市PTA連合会総会で発表を行った。主な活動内容は、本部によるあいさつ運動、交通補導委員会による市内巡回指導、成人教育委員会の家庭教育学級、保健体育委員会によるAED操作・心肺蘇生法の実習、広報委員会による広報誌の作成等である。子どもの顔が見える・親の顔が見える・先生の顔が見える・学校の顔が見えることは、非常に大事であり、学校と家庭がお互い協力し合える教育「共育」が生まれ、その成果が部活動の成績等にも表れてきているのではないかという発表であった。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 第28回羽生市陸上競技記録会の結果について</p>	<p>石井委員長</p> <p>スポーツ振興課長</p>	<p>報告事項4について、スポーツ振興課長より説明を求めた。</p> <p>5月24日に中央公園陸上競技場にて開催した。参加延人数は293名であった。今大会は、大会記録の更新は無かったが、新規購入したスポーツ計時計測機器を使用した結果、記録、計時、集計ともスムーズに進行することができた。来年度は参加者数増加を図るため、開催日程や内容等について改めて関係機関と検討したいと考えている。</p>
<p>報告事項5 その他</p>	<p>石井委員長</p> <p>生涯学習課長</p> <p>図書館兼郷土資料館長</p>	<p>その他の報告事項を求めた。</p> <p>男女共同参画事業・家庭教育支援の第2弾となる「学んで、食べて、おいしいはなし」という講習を開催する。内容は、「食べる力は生きる力」と題し、歯科医師の古市先生による講話、バランスメニューのランチ食事会、「親子でたのしい歯みがきタイム」と題して歯科衛生士の金子さんを講師として歯みがき指導を行っていただく。8月2日午前中、パープル羽生にて開催し、定員は親子30組の予定である。テーマである食べることや歯みがきは家族のコミュニケーションも深まると考え、父親の参加も増やしたい。7月1日発行の広報にも掲載する。</p> <p>羽生市立図書館空調設備改修工事における臨時休館について、5月定例教育委員会で協議いただいたが、工事進行上やむを得ないと判断し、6月10日、17日、24日の3日間を臨時休館とした。臨時休館日が図書の返却にあたる方については、葉書で事前にお知らせした。市及び図書館のホームページへの掲載、館内の掲示等により、混乱もなく臨時休館し、工事を進行することができた。</p>

会議事件名	て ん 末	
	石井委員長	報告事項に関して質問・意見を求めた。
	古市委員	報告事項 1 について、南中学校で緑化教育研究を委嘱するとあるが、以前学校で技術・家庭科を見学したときに、担当の先生が園芸に関する技術が非常に高い方だと思った。この研究に関しては期待できると思う。研究となると、園芸の能力以外にも色々必要な要素があると思うが、技術・家庭科の先生を中心としてチームワークで研究成果を上げていただければと思う。
	学校教育課長	この事業は県から順番に委嘱されるものであり、南中学校の前は三田ヶ谷小学校が委嘱され県の表彰を受けている。2 年前には村君小学校が県で上位入賞し、全国にすすんでいる。
	教育長	陸上競技記録会の開催日程について検討とあるが、どのようなことか。
	スポーツ振興課長	昨年は中学校の修学旅行に重なる等、日程が合わず中止となった。今年は高校の中間テストの前後で、部活ができないため、参加を見合わせるということがあった。加須市においても、同時期に陸上競技記録会を行ったが、出られない子ども達が多かったとの事。関係団体等と相談し、開催時期を検討したい。
	教育長	参加者の半数は小学生となっている。開催時期が春であると、たとえ 6 年生といってもまだ 5 年生のようなものである。この時期で記録を更新することは難しく、これから伸びる子も出てくるため、記録を残すのであればもっと先の時期にすべきではないかとの意見も学校から出ている。検討の材料としていただきたい。
	古市委員	報告事項 3、東中学校の P T A 研究発表にも出てきた学校保健委員会とは、保健委員会の中でも狭いカテゴリであるが、地域の住民まで含めた保健委員会の枠もあると考える。P T A の組織図

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習課長	<p>に地区の理事も含まれているが、保健委員会に、学校に関わる人だけでなく、学区の地域のすべての住民が入る広いカテゴリがあると認識している。それを意識していると、健康をテーマに地域と学校が繋がるのが可能であると思う。</p> <p>P T Aの専門委員会としての保健体育委員会だが、社会教育の意味では地域との連携も今後必要になると思うので、研究していきたい。</p>
	春山委員	<p>報告事項2の教育研修について、学校訪問すると学校が若返っていると感じる。活力があると感じると同時に学習指導、生徒指導について研修の機会を通して指導力の向上、力量を高めることに取組んでいただき有難いと思う。今後も期待したいと思う。</p>
	岩本委員	<p>羽生市教育研修センター事業の教育支援員の研修会について、教育支援委員の方々は教員免許を持っているとは限らないが、実際は加配というかたちで学校現場に入り、重要な役割を担っていると思う。現場での状況を考えた時に、教員免許を持っていない支援員に対しどのように研修しているか。</p> <p>報告事項その他のキャロットの講習会については、羽生市、教育委員会、民間の団体の共催で行うことは地域の活力になり、良いと感じた。</p>
	学校教育課長	<p>まず、各教育支援員の職務等について説明する。学習支援員は、授業における学習の補助という役割を担う。児童生徒介助員は特別支援教育関係で介助が必要な子ども、学級数に応じて配置される。日本語指導員は、外国人等日本語の勉強が必要な子どもに指導を行うため、拠点校に配置される。教育相談員は、心の悩み相談等を受ける教育支援員で、各中学校に2人ずつ配置し、小学生の相談も受ける。適応指導教室指導員は、市民プラザにある適応指導教室に通う子ども達の指導にあたる。教育支援員の中で学習支援員は原則、教員免許を持っていることを条件に採用するが、他の支援員についてはその条件はない。採用については面接を2名体制で実施しており、特に学校現場に配置される支援員について</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>ては、校長の評価、学校からの評価を充分考慮している。あくまで学校組織の一員としての職員であるため、私はこうやりたいというのが、学校の方針とずれてしまうと困るため、そのような事にも配慮しながら採用している。研修では、学校の一員としての服務についての指導もしている。また、支援員同士で学校の体制の中でどのように職務を行っていけばいいかを話す場がないため、研修の場で悩んでいる事等について共有する。教育委員会は常に相談に乗る形で研修を進めている。</p>
	教育長	<p>学校に配置される教育相談員については子どもとコミュニケーションが取れていないと、子どもからはなかなか相談しない。相談が無くやりがいがないという相談員もいる。相談が無いことは良い事かもしれないが、待っているだけでは相談には来ない。子ども達はどこの誰だか知らない人に自分の心の中を打ち明けることはないため、努力が必要である。相談は学校の先生が受けるのが一番であるが、ケースによっては児童生徒を評価する立場にならない人も必要なのではないかということで、教育相談員を配置することになった。学校にいつもいることにより、人間関係ができると子ども達も色々相談するようになる。役割は違うが、子ども達の状態が良くなるようサポートする人達が沢山いる。</p>
	学校教育課長	<p>教育支援員は全部で 40 人近く配置されており、児童生徒介助員が一番多くて 22 人程である。</p>
	教育長	<p>2、30 年前では教育支援員はいなかったが、教育相談員の制度が最初につくられ、少しずつ増えてきた。日本語指導員も対象の子どもがポルトガル語や中国語等、英語以外の言葉話すため、適任者がなかなかいないこともある。羽生市内の外国人の子どもはどうか。</p>
	学校教育課長	<p>南米系の子どもが多いようである。</p>
	岩本委員	<p>先生方が全てのことを抱え込むのは大変であり、本来の学習を指導する立場に加えて色々な事が増えてきたため、支援員の配置が必要になったのではないかと思う。教員免許を持っていない教</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校教育課長	<p>育支援員であっても専門の力が必要な分野であり、その機能をしっかり果たさなければ、先生が授業に集中できない面もあり、資格というよりもきちんと役割を果たすことが大事という意味で、ある程度の研修が必要ではないかと思う。教員免許を持っていないから良くないということではなく、大事な役割であり、だからこそしっかりと関わっていかねばいけない。</p>
	教育長	<p>これまで継続して雇用している支援員が多い。給料の支払いに関しても3年前までは報償費からであったが、現在は賃金扱いで羽生市の職員という扱いである。より良い人材を採用していきたいと考える。</p> <p>学校司書の採用の場合は、図書館司書の免許を持っていることを条件としたが、教員免許を持っていることを条件とすると人が集まらない。面接の際に適性をよく確認しているが、実際に子ども達に触れ、理想と現実が全く違い、すぐ辞めてしまう者もいた。しかし、今の教育には教育支援員の存在が、本当に必要な状況になってきている。これまでは、先生一人で何とかこなしていたが、今はいろいろな子どもがおり、一様にはいかない。バリアフリー、ノーマライゼーション等の考え方や一つの学級の中で多様な学びをしていこうという形もある。しかし一人ひとりの学力を保証していかなければならない側面もあり、教育支援員の配置等を行っていく。教育支援員を学習が遅れがちな子どもにつけたりするため、どうしてもある程度の人数が必要になる。</p>
	古市委員	<p>いろいろな職種の人が配置されているのは、介護の現場でも同様で、それぞれのスキルやノウハウを活用している。子どもの場合は発達、お年寄りの場合は衰えに個人差があり、教育も介護もそれぞれの職種の人が力を合わせて対応しており、共通点があるように感じた。</p>
	教育長	<p>現場では様々な問題点があると思われる。例えば修学旅行や遠足にも教育支援員が一緒に行くというシステムはないため、子どものサポートが難しくなる。そのような点で苦労した事はあるか。</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校教育課長	<p>学校行事は大変苦勞する。学校内で行うものについては児童生徒介助員、教職員と子ども達で何とか行えるが、宿泊や校外での行事については旅費や出張費を出せないため、保護者にご協力いただけるか、それができない場合は身体的に重度な子どもであると、連れていけないかもしれないと、その辺りの苦勞がある。</p>
	春山委員	<p>家庭教育支援の講習会についてだが、「家庭教育」という言葉には若いお母さん方がなかなか関心を持たないこともあり、「おいしい話」というタイトルであれば、興味を持っていただけるかと思いい、古市歯科医院さんの御好意もあり、食べること、生きること、について研修を行うこととなった。料理の得意な人もいるため管理栄養士の指導の元、おいしいランチを作ろうという内容も予定している。会費は親子で300円、子どもが何人いても同額である。少額の会費で実現するため、材料について協力いただける農家を募集している。</p>
	岩本委員	<p>どのように周知するのか。</p>
	生涯学習課長	<p>7月1日の広報に掲載する。チラシを作成し、公共機関等に配布する。</p>
	岩本委員	<p>保育に関することは子育て支援課よりメール配信があり、各事業所が印刷する方法をとっている。未就学児が主なターゲットであるため、保育園や幼稚園に声掛けしてみてもいいか。</p>
	生涯学習課長	<p>チラシを印刷しているため、後程お届けする。子育て支援課長とも相談させていただく。</p>
	石井委員長	<p>報告事項について、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 議案第41号 羽生市学校給食センター運営協議会委員の委嘱について</p>	<p>石井委員長 給食センター所長</p>	<p>議案第41号について、給食センター所長より説明を求めた。</p> <p>委員の内訳は、校長会から3名、食育主任代表が3名、PTA代表が3名、識見を有する者が2名、薬剤師会代表1名で、計12名である。任期は平成27年4月1日から平成29年3月31日である。</p>
<p>議案第42号 羽生市社会教育委員の委嘱について</p>	<p>石井委員長 石井委員長 生涯学習課長 石井委員長 石井委員長</p>	<p>議案第41号についてはよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p> <p>議案第41号は可決された旨、宣した。</p> <p>議案第42号について、生涯学習課長より説明を求めた。</p> <p>委員候補者は、学校教育関係から3名、社会教育関係から6名、家庭教育関係から5名、他、ロータリークラブ等の代表で、計19名、内、新任が8名である。任期は平成27年7月1日から平成29年6月30日までの2年間である。</p> <p>議案第42号についてはよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり。</p> <p>議案第42号は可決された旨、宣した。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>議案第43号 羽生市立郷土資料館 運営委員会委員の委 嘱について</p>	石井委員長	議案第43号について、図書館長兼郷土資料館長より説明を求めた。
	図書館兼郷土資料館長	羽生市資料館運営委員会の委員6名のうち、教育研究会の役員交代により1名を委員として委嘱する。任期は前任委員の残任期間であり、平成28年3月31日までとなる。
	石井委員長	議案第43号についてはよろしいか。
		異議なしの声あり。
	石井委員長	議案第43号は可決された旨、宣した。
	石井委員長	次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。
	教育総務課長	7月定例教育委員会は、7月16日午後1時30分より教育委員室にて開催する。
石井委員長	閉会を宣した。	
	<p>委員長 _____</p> <p>委員 _____</p> <p>委員 _____</p> <p>書記 _____</p>	